**第45回例会　アンケート集計**　　　　　　　　　　　　　　　 82／159

　　　　　　回収率：５１．６％

●**性別**　　男　２７名　　女　４９名　　ＮＡ　６名

●**年代**　　20代　0名　　30代　４名　　40代　１１名　　50代　１３名　　60代　５３名　　ＮＡ　１名

●**職種**　 ケアマネ　２２名　　介護職　 １名

　　　　　相談職　　３名　　看護職　２名

町内会役員　２名　　民生委員　３０名

ボランティア団体　２名

その他　 ２０名

**＜会員＞☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆**

●**講演会について**

　　大変良かった　１９名　　良かった　１１名

ＮＡ　１名

　【自由記載】

　　・落ち着いた話し方で大変聞きやすかったです。初めてのお話ばかり聞けて良かったです。

　　・今後も講演などは一般の方の参加をしていただけると良いと思います。利用者さん目線の意見が聞けるので。

　　・高齢者の現状を実際取材をして声をきいた内容が分かりとても参考になりました。

・老老介護が予想される年齢となり、今後の生活について大変勉強になりました。

　　・VTRをみることでより具体的に理解できた。わかりやすかった。

　　・ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽに通所されている方、その後家族が目の当たりにしている問題が多く出てきました。本当に思う様に余生を送れない方々が多くいらっしゃいます。お金が無いからあきらめなければならない事が多い現実は、とてもとても悲しいなと考えます。

　　・年金の事や老後のことを詳しく教えていただき、現実的に感じました。

　　・様々な事例をご紹介いただき、参考になりました。『縁』を繋ぐ。これからの介護施設、福祉施設のあり方の再考に必要なのかなと感じました。

　　・NHKさん頑張って報道してくれてますね。ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽの東京の西あらいのとり組みは素晴らしい。現在はデイで机から離れ、ウロウロするのも注意される。皆同じことをする・・・など、楽しくないデイと思う。

　　・都市部、農村部に関係なく、経済問題、つながりの大切さを実感できた。

　　・映像と講演についての問題提起は大変判り易く身近なこととして感じる事ができました。

　　・一人の人とつながる事で、その人が元気になれる事がわかりました。

　　・少しの行動力がまわりをとり込むことができる、できた事例があることがわかりました。

　　・これからは知恵と工夫。ひとりぐらしはあたりまえ加速していく。実感した。

●**対談について**

大変良かった　１４名　　　良かった　８名

　　Ｎａ　９名

　【自由記載】

　　・1部の内容を掘り下げた具体的な内容が聞けて大変良かった。

　　・地域の工夫、取り組み事例を聞けてとても良かった。

　　・電話サービス10分1000円、共感しました。

　　・色々な地域の実践例が聞けて大変興味深かった。

　　・大変参考になりました。行政、包括の人は是非きいてほしい対談でした。

　　・板垣先生の経験値、知識、理念があってこその対談と思いましたが、それを引き出した本間代表の話術がすごいと思いました。相談職として見習いたいです。

　　・仕事でも、プライベートでも、個人情報の壁を感じる事があり、板垣先生から聞けたエピソードが役に立ちました。おせっかいが現代は大事なのかと思いました。フロアで民生委員の方や地域で働く方もいたと思うので、質問を聞いてみるのもどうかと思いました。

　　・高齢者が活やくできる場所をつくってほしい。

●**今回の研修を受けて、個人として、組織として、市としてどのような活動をするべきと考えましたか。**

　【自由記載】

　　・地域での取り組みにつなげていきたい。

　　・日々、ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽの看護師として、１人の人として、利用者様と関わりが多く持てる立場である事を、１つ１つ大切にして、個々の余生がより良いものとなれるよう、努めていきたいと思いました。

　　・高齢の方も孤立、孤独の現状を知り、自分自身が防止できる術（すべ）を可がね行えるようにサポートしたい。

　　・孤立を作らない様に声をかけて行く事をしていき、つながりをもっていこうと思いました。

　　・「介護の社会化」で介護保険が始まり、私の老後は安心と思ってましたが・・・だんだん不安になる最近の状況です。包括地域システムが良い方向にいくのならいいけれど、地域での「監視」社会にならない様に願います。

　　・当事者が自ら動き出す仕組み、きっかけ作り。動き出した当事者の背中を押す。

　　・自分から動く、おせっかいをメゲずに続ける。おせっかいをやくのが好きな人が思う存分おせっかいをやけるような、おおらかな地域づくり。

　　・９０才の要介護者５０才のニート離職者問題として今後の対策を考えて欲しい。家計が苦しいと問題。

　　・地域（町内）単位で特色を生かした取り組みへのうながし、参加の呼びかけ。

　　・今はむずかしいがいろいろな方と知りあいになる事が、数か月数年後に活動ができるかもと思います。

　　・市は町内の実態をわかっていないのでは。

　　・人と人とのつながりを持てるような活動が行えるといい。

　　・今回の講演内容を①知らせる。②理解を得る。市民へのアピールなど、考えていくべきだと思います。

**●今後、「孤立・孤独の防止」に向けてどのような講師を招いての研修会等を期待しますか。**

　【自由記載】

　　・地域での気づきを「包括」に報告しても・・・「個人情報」の壁なのかその後、何の連絡もない事が多い。報告もためらう事になります。

　　・孤立、孤独の防止ではなく、孤立、孤独でよし（安心）とする社会作り

　　・また板垣先生の話が聞きたいです。

　　・ニートの孤立、孤独を勉強したい。

　　・具体的なエピソードの関わりをもってらっしゃる方が嬉しいです。

●**今後、当会に期待することはなんですか**

【自由記載】

　　・今後も研修会よろしくお願いします。

　　・研修ももちろん大切ですが、研修から実働につながるまでレクリエーション等、コミュニティ形成のきっかけや土台作りの事業があっても面白いのかなと思いました。

　　・冷暖房をつけてほしい。

　　・初めて介護者の面接訪問に行くと部屋のすみからコソコソとニートの５０才代の息子が出てくるのが多くなり問題と思います。

　　・今後も苫小牧市以外で行われている活動等のお話が聞きたいと思います。

**＜非会員＞☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆**

●**講演会について**

　　大変良かった　４５名　　良かった　６名

　【自由記載】

・中身のある講演だったので大変良かったです。

　　・具体的な事例をDVDで見る事が出来、とても良かった。現場に接している講師の話は説得力がある。

　　・つながりを工夫してたくさん作る。

　　・何が出来るか考えてみたいと思います。

　　・福祉のあり方についてはもっと細かい部分について話し合いが必要かと思う。まず自分の住んでいる地域で考える事が多々感じました。

　　・長寿をよろこべない今の日本、家族がいてもたよれない。介護保険がすべてを解決するはずだったのにそうではなかった。悲惨老後に。沖縄のﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽの内職の例が心にのこります。働けるうちは働くいい話だと思った。

　　・テレビで見ていましたが、よりいっそう、厳しい現状が伝わってきました。

　　・孤立死が身近なことが心打たれたのは、単身の子供が親を見ることが老後破算になる話は、息子さんの気持ちが切なかった。

　　・今私たちが地域で直面している問題を提起して下さいました。私共も町内会と一緒に何が出来るか模索中です。参考にしたいと思います。

　　・普段見のがしている深い部分までお話してくださって有難うございました。

　　・生きがいの出来る、アルバイトできるﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽは良い考えと思いました。町内会で、複合的なつながりを作って行きたい。そして安否確認をお互いにしてゆきたい。

　　・涙が出ました。私も、もっと頑張りたいですね。まだなにかできると思うので。

　　・民生委員として活動させて頂いていますが、個人個人の生活状況までは分からない、活動（サークルなど）行っている人は元気で対人関係もよくやっているみたいだが、生活は、どうしているか？

　　・日頃の活動にとても良いお話を聞かせて頂きました。今後も頑張って行こうと思いました。ありがとうございます。

　　・現実の厳しさを身にしみた。

　　・介護離職（親の介護）破産の危険と介護する人への支援制度の必要性を痛感。

　　・色々な貴重な事例を聞けて今後の参考にして行きたい。

　　・実際の体験を例に出しての話がわかりやすかった。

　　・実際の声、姿を見る事が出来、問題点にどの様に対処していかなければならないか考える事が出来ました。

　　・家庭での介護の大変さが映像として見れて実感として深まった。

　　・自身も主人の父と私達夫婦3人暮らし。自分も将来、孤立高齢者になるのではと考えさせられた。

　　・一人暮らし、二人暮らしの見守り、サポート。老後破算など色々胸がつまる思いで聴かせていただきました。せめて自分の地域からその様な不幸の事例を予防したいです。勉強させていただきました。

　　・ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽが生産性のある介護料をとられるのでなくもらって帰れる新しい話を聞けたことがうれしくなりました。

　　・社会との接点をどう構築して行くか。深く考える機会をいただきました。ありがとうございました。

　　・放送画面を時々入れていただいたので大変具体的に感じることができました。自分は10年両親の介護をして送りました。両親は娘の自分が看取れましたが私は誰もいないと思うのですごく不安です。

　　・自分も1人ぐらしですので大変勉強になりました。ボランティア―をしていますけどもっとガンバラないと思いました。地域では、朝の声かけをしています。

　　・2000万円預金がある方が、今後の不安を語っておりましたが、私的に、お金の余裕の無い私はどうすれば良いのでしょうか？

　　・取材現場での話だったのでとてもよくわかり役にたった！現在92才の義母（要介護２）の介護中。

　　・話し方がゆっくり、ていねいで聞きやすく、話に引き込まれた。

　　・介護保険料の一割負担の重さを感じた。

　　・スライドで見る事ができて、分かりやすかった。

　　・介護する人をサポートする制度や地域の取り組みなどがとり上げられているといいなと思うのですが。

　　・老後破算の現実（経済的余裕ない、孤立を深める等）、親子共倒れを防ぐ、行動と実践、輪を広める体験談。上映は親を看取った経験から生きる不安、苦悩共感でき知恵が深められた。

　　・こまめな見守り、訪問、安否確認が必要だと痛感した。

●**対談について**

大変良かった　１５名　　　良かった　８名

　　Ｎａ　２８名

　【自由記載】

　　・ヘルパーさんが入ってくれているが、「これは、やるがこれは「出きない」と、こまっているのに「出きない」といわれると、ヘルパーさんてなんなのだろうに思う。

　　・時間が無くて受講できず残念です。

　　・町内でのつながりを考え、早く行動する事が大事だと思った。

　　・板垣様の話、すべてうなずきながら聞きました。

　　・具体的な情報、ヒントが沢山得られました。

　　・困りごとをどう気付き、準備して対応、どう関わっていくか考える一助となった。

　　・苫小牧の状況も説明していただきつつ、板垣さんの経験を交えての対談だったのでわかりやすかった。

　　・救急医療キット情報が消防署にあっても、確認している前に出動してほしい。ので無くてもよい。よっぽどのシステム管理をしないと消防が情報の洪水であふれてしまう。と思います。

　　・大変ためになりました。

　　・細かな事例を上げていただき勉強になりました。板垣さんの情報の多さに関心しました。

　　・色々な活動の仕方があるんだなァ・・と感じました。

　　・より具体的な話でもあり、参考になった。

　　・どんな事でも小さな事でもつながりを作れると再確認出来ました。

　　・苫小牧市の現状を聞けて良かった。救急キットの情報は消防署にもあるべきです。災害時の対応は高齢者にとってどうなのか気になります。

　　・地域の特性を知るということが大切と思った。非常に参考になった。知恵を出し合い、工夫、いろんな選択肢をさぐる、明日は我が身と思い生活していく必要がある。

　　・具体的な実せん事例が聞けて、よかったです。

●**今回の研修を受けて、個人として、組織として、市としてどのような活動をするべきと考えましたか。**

【自由記載】

　　・何をして良いか、わかりませんが、他の人とお声がけをすることから始めようと思います。

　　・毎日、ラジオ体操をしているので（自宅の庭）できたら自宅前の公園でしてみようと思う。

　　・地域のネットワーク作りが本当に重要と感じました。どのようにしたら参加しやすくなるか、特に自分が人の為に何かできる、役に立つという自信を持てる取り組みが必要だと思います。

　　・自分自身の為であり、地域、職場全てに活用できる参考になるお話を聞く事が出来ました。

　　・私は、民生委員をしておりますが、今の活動を更に深め、役に立たなければ・・と思っているところです。悩み事をよく聞いておくこと等。

　　・世帯分離の話の中で、親を支えながら見ている息子、むすめを支える制度を考えてほしい。

　　・町内会であらためて活動していきたい。

　　・住民に今回のような講演内容をどのように広めていくか。を考えて活動をすすめてほしい。

　　・独居世帯だけでなく高齢者整体に対しての地いき、町内、隣近所とのつながり、見守り、支え合いができるような活動。

　　・一人一人の意識、本当に町内会未加入者や老老介護世帯、二人暮らしに目が届かない。自信も超高齢、自分のため、地域住民のため声かけ、ボランティア、趣味を通して社会に接点を持ち情報を共有したいと思う。健康が第一です。介護予防教室（体操絆）健康長寿を心掛けたい。

　　・人と人のつながりを広げる。つながることの大切さを広めてほしい。安否確認だけでなく、お友達づくりの大切さなど。

　　・無感しんな人を、なくしていくように、自分もかかわっていきたい。

　　・個人として、色々めんどうをみてやりたいがなかなか出きない。自分の体の事を考えてしまう。

　　・世帯分離の仕方に問題がある。

　　・大変な時代。

　　・積極的にボランティア活動をできるだけしたい。

　　・当会ホームページを検索し理解を深めたいと思います。

　　・個人―孤立しないように自分でも努力。組織―周囲に孤立ぎみの方がいたら手をさしのべたい。

　　・地域ぐるみの細かな活動が必要。

　　・民生委員と地域の組織や近所のつながりの力を作る事、力を入れる事を感じた。

　　・支援について、市・・・個々のケースについて、細かく指導援助をすることに努力する。ケースｂｙケースで、市（行政）民児委員として。

　　・孤立の老人の方だけではなく夫婦や家族の世帯ももっと細かに調査していくべきだ。いろいろな自治体の状況を学ぶ縁をもっと大切に、アイディアをだしていく。

　　・よく、市の福祉課とやり取りしますが、職員は決まって自分は動かなくてもどうにかしてくれと云う態度です。私は７５才です、民生委員をしながら、高齢者介護施設、障害者サポートセンター、町内会のサロン等へ行きお化粧をする事を通して、元気をもらったり、元気を上げたりして１０年になります。そろそろ引退を考え始めましたが、まだまだ頑張って見ようと思います。

　　・町内会の高齢者１人暮らしの人の見守り方を更に検討したい。市政も更に先の事を見据えた政策を実施してもらいたい。

　　・地域のつながりが町内活動を通じて活動出来たら良いと思った。

　　・福祉の街といいながら、カジノを考えているようでは本気度が伝わってこない。ソフト、ハード両面にわたりまだまだ不足。

　　・つながりが活かせるシステム、近所、子供など地域で取組み（ゴミ出し、登校前、仕事前に）

**●今後、「孤立・孤独の防止」に向けてどのような講師を招いての研修会等を期待しますか。**

【自由記載】

　　・高齢者の人にも話を聞かせてあげたい。

　　・様々な方法で孤立・孤独を克服した方のお話。

　　・本日の板垣さんにまたお願いしたい。

　　・講師のお話もうれしいのですが、個々人がどういう問題がありながら暮らしている事にふれてみたい。

　　・板垣さんのお話をもう一度聞きたいと思います。北海道で成功した地域のお話を聞きたいと思います。

　　・希望します。

　　・孤独感をもって生活してる人に何とか心を開いてもらいたい。具体的に。

　　・継続的に板垣先生に講演をしていただければ良いと思う。

　　・具体的な例を知る立場にある人、例えば、警察、救急隊、福祉施設関係など。

　　・具体的に、事例を使って話してほしい。

　　・今回の講師、非常に良かった。継続を願う。

　　・特になし。実際に介護で苦労された方の話。

　　・個人情報から深く入れない事もあるのでつながりを活せる研修。

●**今後、当会に期待することはなんですか**

【自由記載】

　　・市民向け講演会の継続。

　　・自分、役に立てる機会はないかしら。

　　・まさに段階の世代、ど真ん中です。地域力、大切にしたいと思います。ありがとうございました。

　　・さらに活発な活動を期待します。

　　・PR、ホームページみてみます。

　　・私達が気づかないでいる事、何でも知りたいです。

　　・事例を沢山聞いて大変参考になりました。又、この様な機会をお願いします。

　　・７１才です。今は４人で生活していますが２～３年後には独居になる予定です。社会との接点を持ち続けたいと努力しています。このような深いテーマの講演を期待しています。

　　・本当に、切実な問題で、目の前にせまっております。人との良いふれあいを切に望みます。

　　・地域の人々に活動をもっと発信してほしい。実際苫小牧の現状はどうなのか知りたい。